



おはなしの

マッチばこ



私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまな花を放つ
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

5月のストーリーテリング勉強会

2016年5月11日(水) 9:30~12:00

主催：高知県立図書館 参加者：10人

場所：高知県立図書館 児童図書研究室(子ども読書室奥)

次回の勉強会は
6月8日(水)

9:30~12:00

場所：当館児童図書研究室

(子ども読書室奥)

1 うりひめ

7~8分

『子どもに語る日本の昔話1』(稲田和子, 筒井悦子/著 こくま社/発行) より

【語り手から】

少し早口になってしまったので、おはなしの雰囲気的大事にして、意識してゆっくり語りたいと思う。

2 ドシュマンとドゥースト

15~16分

『子どもに語るアジアの昔話2』(松岡享子/訳 こくま社/発行) より

【語り手から】

来月もう一回、仕上げをやってみます。(ベースを頭に入れてから…)

3 金の腕

3分

『おはなしのろうそく22』(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館/発行) より

【語り手から】

どのように語るか迷いながら練習しました。自分では最も選ばないタイプのおはなしなのですが、今回はちがったおはなしを覚えたいと思います。

4 こすずめのぼうけん

7分

『おはなしのろうそく13』(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館/発行) より

【語り手から】

前回アドバイスをいただいた点に気を付けてやってみました。来月、子どもの前で語ろうと思っています。

5 かにかにこそこそ

8分

『おはなしのろうそく8』(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館/発行) より

【語り手から】

保育園児から小学2年生くらいに語っています。とても子どもがよく入ってくれるお話です。

6 金太郎

4分

『金太郎』(中島和子/文 登龍館/発行) より

【語り手から】

約2年ぶりの参加でした。ベテランの方々のお話を久しぶりに聞いてとても勉強になりました。年少の子ども向けにと今回短いお話を選びましたが、“お話のクライマックス”や“子どもたち(聞き手)に何を伝えたいのか”を今回忘れていたように思います。テキストを見直さなければと思いました。

7 おおかみと七ひきの子やぎ

9~10分

『おはなしのろうそく18』(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館/発行) より

【語り手から】

1年生に、しっかり語りたいと思います。本当によくできたおはなしですね。

8 シーリコッコラ

14~15分

『岩波世界児童文学集16』(岩波書店/発行) より

【語り手から】

おはなしは特に難しい場面もなく進んでいくのですが、ていねいに語って自分でもしっかり描いて語るようにしたいと思っています。

おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。

過ごしやすい季節になってまいりました。子ども読書室にいますと、玄関や窓からそよ風が入ってきます。晴れた日は、外の木も緑鮮やかに見え、とても気持ちが良いです。